

○平成元年郵政省告示第四十二号（電波法施行規則第六条第四項第二号の規定に基づき特定小電力無線局の用途、電波の型式及び周波数並びに空中線電力を定める件）の一部を改正する告示案 新旧対照表 (傍線部分は改正箇所)

改 正 案			現 行		
1 テレメーター用、テレコントロール用及びデータ伝送用 「1・2 略」 3 九一五・九 MHz 以上九二八・一 MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備 (一) 一の単位チャネル（中心周波数が九一六 MHz 以上九二八 MHz 以下の周波数のうち九一六 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたものであって、帯域幅が二〇〇 kHz のチャネルをいう。以下この号において同じ。）を使用するもの			1 「同上」 「1・2 同上」 3 「同上」 (一) 占有周波数帯幅が二〇〇 kHz 以下のもの		
周波数	空中線電力	備考	周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六 MHz 以上九二八 MHz 以下の周波数であつて、九一六 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの (キャリアセンスを行わないものに限る。)	一ミリワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。以下この号及び次号において同じ。）以下となるものにあつては、〇・二五	単回通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式	中心周波数が九一六 MHz 以上九二八 MHz 以下の周波数であつて、九一六 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・〇〇一ワット以下	「同上」

中心周波数が九二〇・六 MHz 以上九二八 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・六 MHz に <u>二〇〇 kHz</u> の整数倍を加えたもの（キャリアセンスを行うものに限る。）	<u>〇・〇二ワット以下。</u> <u>ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が一六デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</u>	
--	--	--

(二) 連続する一の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・一 MHz 以上九二七・九 MHz 以下の周波数であつて、九一六・一 MHz に <u>二〇〇 kHz</u> の整数倍を加えたもの（キャリアセンスを行わないものに限る。）	<u>一ミリワット以下。</u> <u>ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</u>	単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式

中心周波数が九二〇・六 MHz 以上九二八 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・六 MHz に <u>一〇〇 kHz</u> の整数倍を加えたもの	<u>〇・〇〇一ワットを超え〇・〇二ワット以下</u>	
--	-----------------------------	--

(二) 占有周波数帯幅が二〇〇 kHz を超え四〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・一 MHz 以上九二七・九 MHz 以下の周波数であつて、九一六・一 MHz に <u>一〇〇 kHz</u> の整数倍を加えたもの	<u>〇・〇〇一ワット以下</u>	〔同上〕

中心周波数が九二〇・七 MHz 以上九二七・九 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・七 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの（キャリアセンスを行うものに限る。）	〇・〇二ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が一六デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。
--	--

(二) 連続する三の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・二 MHz 以上九二七・八 MHz 以下の周波数であつて、九一六・二 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの（キャリアセンスを行わないものに限る。）	一ミリワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式
中心周波数が九二〇・八 MHz 以上九二七・八 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・八 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの（キャリアセンスを行うものに限る。）	〇・〇二ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	

中心周波数が九二〇・七 MHz 以上九二七・九 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・七 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・〇〇一ワットを超え〇・〇二ワット以下
--	----------------------

(二) 占有周波数帯幅が四〇〇 kHz を超え六〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・二 MHz 以上九二七・八 MHz 以下の周波数であつて、九一六・二 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・〇〇一ワット以下	「同上」
中心周波数が九二〇・八 MHz 以上九二七・八 MHz 以下の周波数であつて、九二〇・八 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・〇〇一ワットを超え〇・〇二ワット以下	

MHz 以下の周波数であ つて、九二〇・八 MHz に 二〇〇 kHz の整数倍を 加えたもの (キャリア センスを行うものに 限る。)	の筐体に収められて おり、かつ、容易に開 けられない構造であ つて、等価等方輻射電 力が一六デシベル以 下となるものにあつ ては、〇・二五ワット 以下であること。
---	--

四 連続する四の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・ 三 MHz 以上九二七・七 MHz 以下の周波数であ つて、九一六・三 MHz に 二〇〇 kHz の整数倍を 加えたもの (キャリア センスを行わないも のに限る。)	一ミリワット以下。た だし、無線設備が一 の筐体に収められてお り、かつ、容易に開け られない構造であつ て、等価等方輻射電力 が三デシベル以下と なるものにあつては、 〇・二五ワット以下で あること。	単向通信方式、単信方 式、複信方式、半複信 方式又は同報通信方 式
中心周波数が九二〇・ 九 MHz 以上九二七・七 MHz 以下の周波数であ つて、九二〇・九 MHz に	〇・〇二ワット以下。 ただし、無線設備が一 の筐体に収められて おり、かつ、容易に開	

MHz 以下の周波数であ つて、九二〇・八 MHz に 一〇〇 kHz の整数倍を 加えたもの	
--	--

四 占有周波数帯幅が六〇〇 kHz を超え八〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九一六・ 三 MHz 以上九二七・七 MHz 以下の周波数であ つて、九一六・三 MHz に 一〇〇 kHz の整数倍を 加えたもの	〇・〇〇一ワット以下	「同上」
中心周波数が九二〇・ 九 MHz 以上九二七・七 MHz 以下の周波数であ つて、九二〇・九 MHz に	〇・〇〇一ワットを超 え〇・〇二ワット以下	

<p>二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの (キャリアセンスを行うものに限る。)</p>	<p>けられない構造であつて、等価等方輻射電力が一六デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</p>
--	--

(注) 連続する五の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
<p>中心周波数が九一六・四 MHz 以上九二七・六 MHz 以下の周波数であつて、九一六・四 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの (キャリアセンスを行わないものに限る。)</p>	<p>一ミリワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</p>	<p>単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式</p>
<p>中心周波数が九二一 MHz 以上九二七・六 MHz 以下の周波数であつて、九二一 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの (キャリアセンス</p>	<p>〇・〇二ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電</p>	

<p>一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの</p>	
---------------------------	--

(注) 占有周波数帯幅が八〇〇 kHz を超え、一、〇〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
<p>中心周波数が九一六・四 MHz 以上九二七・六 MHz 以下の周波数であつて、九一六・四 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの</p>	<p>〇・〇〇一ワット以下</p>	<p>〔同上〕</p>
<p>中心周波数が九二一 MHz 以上九二七・六 MHz 以下の周波数であつて、九二一 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの</p>	<p>〇・〇〇一ワットを超え〇・〇二ワット以下</p>	

	<p>を行うものに限る。)</p> <p>力が一六デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</p>
--	---

4 九二八・一 MHz を超え九二九・七 MHz 以下の周波数の電波を使用する無線設備

- (一) 一の単位チャネル（中心周波数が、九二八・一五 MHz 以上九二九・六五 MHz 以下の周波数のうち九二八・一五 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたものであつて、帯域幅が一〇〇 kHz のチャネルをいう。以下この号において同じ。）を使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九二八・一五 MHz 以上九二九・六五 MHz 以下の周波数であつて、九二八・一五 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	<p>一ミリワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。</p>	単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式

- (二) 連続する二の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九二八・	一ミリワット以下。た	単向通信方式、単信方

--	--	--

4 「同上」

- (一) 占有周波数帯幅が一〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
「同上」	〇・〇〇一ワット以下	「同上」

- (二) 占有周波数帯幅が一〇〇 kHz を超え二〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
「同上」	〇・〇〇一ワット以下	「同上」

二 MHz 以上九二九・六 MHz 以下の周波数であつて、九二八・二 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	だし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式
--	--	----------------------

(三) 連続する三の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九二八・二五 MHz 以上九二九・五 MHz 以下の周波数であつて、九二八・二五 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	一ミリワット以下。だし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式

(四) 連続する四の単位チャネルを同時に使用するもの

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九二八・	一ミリワット以下。だ	単向通信方式、単信方

--	--	--

(三) 占有周波数帯幅が二〇〇 kHz を超え二〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
〔同上〕	〇・〇〇一ワット以下	〔同上〕

(四) 占有周波数帯幅が三〇〇 kHz を超え四〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力	備考
〔同上〕	〇・〇〇一ワット以下	〔同上〕

十 移動体識別用
1 「略」

周波数	空中線電力	備考
中心周波数が九二八・三五 MHz 以上九二九・四五 MHz 以下の周波数であつて、九二八・三五 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	一ミリワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	単向通信方式、単信方式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式

(五) 連続する五の単位チャネルを同時に使用するもの

三 MHz 以上九二九・五 MHz 以下の周波数であつて、九二八・三 MHz に一〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が三デシベル以下となるものにあつては、〇・二五ワット以下であること。	式、複信方式、半複信方式又は同報通信方式
--	---	----------------------

十 「同上」
1 「同上」

周波数	空中線電力	備考
「同上」	〇・〇〇一ワット以下	「同上」

(五) 占有周波数帯幅が四〇〇 kHz を超え五〇〇 kHz 以下のもの

--	--	--

2 周波数ホッピング方式以外の方式を用いるもの

(一) 周波数が九一六・七 MHz 以上九二三・五 MHz 以下のもの

ア 占有周波数帯幅の許容値が二〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力
中心周波数が、九一六・八 MHz、九一八 MHz 若しくは九一九・二 MHz 又は九二〇・四 MHz 以上九二三・四 MHz 以下であつて、九二〇・四 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が二七デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。以下この号において同じ。）以下となるものにあつては、〇・五ワット以下であること。

イ 占有周波数帯幅の許容値が二〇〇 kHz を超え四〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力
中心周波数が九二〇・五 MHz 以上九二三・三 MHz 以下であつて、九二〇・五 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が二七デシベル以下となるものにあつては、〇・五ワット以下であること。

ウ 占有周波数帯幅の許容値が四〇〇 kHz を超え六〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力
-----	-------

2 〔同上〕

(一) 〔同上〕

ア 〔同上〕

電波の型式	周波数	空中線電力
NON、A-D、AX N、H-D、R-D、 J-D、F-D、F-D D又はG-D	中心周波数が、九一六・八 MHz、九一八 MHz 若しくは九一九・二 MHz 又は九二〇・四 MHz 以上九二三・四 MHz 以下であつて、九二〇・四 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下

イ 〔同上〕

電波の型式	周波数	空中線電力
NON、A-D、AX N、H-D、R-D、 J-D、F-D、F-D D又はG-D	中心周波数が九二〇・五 MHz 以上九二三・三 MHz 以下であつて、九二〇・五 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下

ウ 〔同上〕

電波の型式	周波数	空中線電力
-------	-----	-------

中心周波数が九二〇・六 MHz 以上九二三・二 MHz 以下であつて、九二〇・六 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が二七デシベル以下となるものにあつては、〇・五ワット以下であること。
--	---

エ 占有周波数帯幅の許容値が六〇〇 kHz を超え八〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力
中心周波数が九二〇・七 MHz 以上九二三・一 MHz 以下であつて、九二〇・七 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が二七デシベル以下となるものにあつては、〇・五ワット以下であること。

オ 占有周波数帯幅の許容値が八〇〇 kHz を超え一、〇〇〇 kHz 以下のもの

周波数	空中線電力
中心周波数が九二〇・八 MHz 以上九二三 MHz 以下であつて、九二〇・八 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下。ただし、無線設備が一の筐体に収められており、かつ、容易に開けられない構造であつて、等価等方輻射電力が二七デシベル以下となるものにあつては、〇・五ワット以下であること。

NON、A-D、AX、N、H-D、R-D、J-D、F-D、F-D又はG-D	中心周波数が九二〇・六 MHz 以上九二三・二 MHz 以下であつて、九二〇・六 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下
---------------------------------------	--	-----------

エ 「同上」

電波の型式	周波数	空中線電力
NON、A-D、AX、N、H-D、R-D、J-D、F-D、F-D又はG-D	中心周波数が九二〇・七 MHz 以上九二三・一 MHz 以下であつて、九二〇・七 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下

オ 「同上」

電波の型式	周波数	空中線電力
NON、A-D、AX、N、H-D、R-D、J-D、F-D、F-D又はG-D	中心周波数が九二〇・八 MHz 以上九二三 MHz 以下であつて、九二〇・八 MHz に二〇〇 kHz の整数倍を加えたもの	〇・二五ワット以下

	とは、〇・五ワット以下であること。			
--	-------------------	--	--	--

附 則

この告示は、平成二十九年十月一日から施行する。